

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	06-04-01		戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	観光情報提供事業		部課名	産業経済部観光振興課	課長名	矢代		
			担当者名	大野・古茂田・増山・齊・大久保	内線	3563		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-01-01	観光情報提供事業						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 5年度 <input type="radio"/> 4年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	平成 14	（ 2002 ）	年度	根拠				
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	令和 7	（ 2025 ）	年度	法令等			
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市					
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成					
	施策	02	受入体制の充実と観光情報の発信					
目的	荒川区の観光情報を区内外に広く提供することによって、区のイメージアップを図るとともに区への来訪者を増やし、地域経済の活性化を図る。							
対象者等	区外の人々及び区への来訪者							
内容	①イベントカレンダー作成(14年度～)②HPに区内行事のインターネット動画配信(14年度～)③まちあるきマップ作成（マップとその増改訂履歴は以下の通り（数字は年度）【南千住】17,19改訂,21改訂,24改訂,28増刷,29増刷,30改訂,3増刷、【日暮里】17,19改訂,21改訂,27改訂,28増刷,29増刷,30増刷,元改訂、【都電】18,20改訂,22改訂,28増刷,29改訂,30増刷,4改訂,5増刷【日暮里谷中散策】21,27増刷,28増刷,29増刷,2増刷、4増刷【千住散策】17,28改訂、4増刷④観光PR協力所設置76か所(R4.12.5現在)⑤行政観光パンフレット作成(20年度作成、23年度改訂)⑥観光スポット特集冊子作成(20年度)⑦京成日暮里駅構内PRコーナー運営(24年度～)⑧イメージポスター作成(24年度)⑨日暮里駅前イベント広場電光掲示板情報更新(25年度～)⑩南千住駅構内PRコーナー運営(26年度～)⑪おいでよ！あらかわ改訂(元年度)⑫観光アプリ開始(元年度～)⑬ことりっぷ日暮里発行(3年度)							
経過	○平成22年度から観光ボランティアガイド事業を受入体制整備事業へ移管した。 ○区内行事のインターネット動画配信 都電荒川線のバラ、諏訪神社御神幸祭、素盞雄神社天王祭、八幡神社例大祭、元三島神社神大祭、石浜神社神幸祭、胡録神社例大祭、仲町通り阿波踊り大会、熊野前サンバカーニバル ○14年度に開設した都電荒川線花見どころサイトは、（相乗りしていた産業HPの廃止に伴い）27年度に区HPへ統合した。 ○24年度に開始したTwitterは28年4月1日を以て広報課アカウントと統合した。							
必要性	多様な情報発信により区のイメージアップ及び来訪者の増加が期待できる。							
実施方法	（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 <input type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員 ）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度見込み		目標値(8年度)
	①	観光PR協力所の設置件数	77	77	76	76	90	
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
5年度		6年度						
重点的に推進		重点的に推進		区のイメージアップ及び区外からの誘客を図るため、区内外に向けた様々な情報発信を工夫する取組を重点的に推進する。				

予算・決算額等の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算額		3,610	6,863	12,140	5,181	10,749	6,565	6,355
決算額（5年度は見込み）		3,030	5,090	10,673	3,263	9,657	5,134	6,355
実績の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
事項名（5年度は見込み）								
イベントカレンダー		30,000	30,000	30,000	—	25,000	20,000	25,000
まちあるきマップ（区単独）		75,000	168,000	122,000	—	64,000	24,000	28,000
まちあるきマップ（他区連携）		—	—	—	48,000	—	22,500	—
観光PR協力所設置件数		91	92	81	77	77	76	76

予算・決算の内訳								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
需用費	観光PRチラシ作成費ほか	1,794	需用費	観光PRチラシ作成費ほか	792	需用費	観光PRチラシ作成費ほか	1,290
委託料	ことりっぷ作成委託ほか	7,813	委託料	観光アプリ運用保守ほか	4,178	委託料	観光アプリ運用保守ほか	2,623
使用料	イラストレーター利用料	50	使用料	イラストレーター利用料ほか	55	使用料	イラストレーター利用料	66
			備品購入費	区内PR動画撮影用スマートフォン	109	工事請負費	日暮里駅前広場電子掲示板撤去	2,376

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
行政費用	給与関係費	8,035	3,142	▲ 4,893	地方税等	0	0	0
	物件費	9,657	5,134	▲ 4,523	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	2,968	1,075	▲ 1,893
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	370	370	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	2,968	1,075	▲ 1,893
	賞与・退職給与引当金繰入額	865	383	▲ 482	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 15,959	▲ 7,954	8,005
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	18,927	9,029	▲ 9,898	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 15,959	▲ 7,954	8,005
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 15,959	▲ 7,954	8,005	

備考 行政費用では、給与関係費を除くと物件費が主なものであり、主な内訳としては、マップ改訂作業委託に1,760千円、観光アプリ（保守及び追加委託）に1,471千円かかっている。行政収入の主なものは、東京都の区市町村観光インフラ整備支援補助金である。

問題点・課題 ①区への来訪者を増やすためには区外への情報発信が不可欠となるが、そのためには、新たな情報発信ツールを積極的に開拓する必要がある。
②新型コロナウイルスによる各種制限の緩和に伴い、今後増加が予想される外国人観光客に向けた積極的に情報発信する必要がある。特に旅マエにおける荒川区の認知度向上に向けた施策が必要である。
③区の魅力を発掘し、区への来訪を促す新たな観光コンテンツを作り出す必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	従前とは異なる層へアプローチできる媒体の活用を引き続き検討する。	従来型のチラシ・パンフレットなどの紙媒体の配布のほか、区ホームページ・SNS・外部媒体によるネットでの情報配信を進めた。	引き続き、SNSでの情報発信を進めるほか、外部媒体の開拓を進める。
②	外国人観光客向けの魅力発信動画の制作に取り組むとともに、効果的な情報発信手段を検討する。	外国人観光客向けの区内観光PR動画（伝統工芸品の店などを取材）を作成し、YouTubeの公式チャンネルに公開した。	引き続き、外国人観光客向けの区内観光PR動画の製作を行い、YouTubeなどSNSでの情報発信を行う。
③	新たな地域でのデジタルスタンプラリー開催のほか、他自治体との共同マップ制作など、新たな魅力づくりを進める。	尾久地域の観光スポットを巡るデジタルスタンプラリーの開催、南千住地域の古地図ARマップ機能など、新たな魅力発掘の取組を進めた	他地域でのデジタルスタンプラリー、観光アプリ内での区外を含めたコンテンツの搭載など、新たな魅力づくりを進める。

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
-------	--------------------------

議会要旨 平成24年1定 日暮里駅周辺において、地元と協力して情報発信を進めるべき。
平成28年度決特 海外の有名なブロガーを活用した情報発信を行ってはどうか。

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	06-04-02	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事		
事務事業名	荒川区観光大使PR事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	矢代			
		担当者名	古茂田・増山	内線	462			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-01-02	荒川区観光大使PR事業						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 5年度 <input type="checkbox"/> 4年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業			
開始年度	平成 18（2006）年度	根拠	荒川区観光大使設置要綱					
終期設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 令和 7（2025）年度	法令等						
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市					
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成					
	施策	02	受入体制の充実と観光情報の発信					
目的	「荒川区観光大使」によるPR活動で、区のイメージアップを図る。							
対象者等	荒川区在住又は出身者で、区に愛着を持ち、区の魅力を積極的に紹介していただける著名人 区民、区外の人々及び来訪者							
内容	（観光大使） 城戸真亜子（洋画家）、三遊亭好楽（落語家）、井崎脩五郎（競馬評論家・タレント）、片岡鶴太郎（俳優・画家）の4名 ①区の最新情報（旬な話題、観光イベント情報、観光パンフ等）を随時提供。 ②観光大使用PR物品を作成し、それぞれの立場において機会のあるごとに荒川区をPRしてもらう（名刺、都電荒川線ポストカード等） ③区長と観光大使との対談を実施し、対談内容をケーブルテレビやホームページ等で情報発信する。							
経過	平成19年度 観光大使が区の魅力を紹介する「私の大好きなまち」作成（23年度改訂） 平成21年度 区長との意見交換会を実施（城戸氏、好楽氏、井崎氏が出席） 平成22年度 区長との意見交換会を実施（好楽氏、井崎氏が出席） 平成28年度 観光大使名刺提示による特典の拡大（区施設（あらかわ遊園、荒川ふるさと文化館）の利用料無償化）							
必要性	著名人の協力による幅広い人脈やネットワークを活かし、区の知名度及びイメージの向上を効果的に図ることができる。							
実施方法	（1直営）（直営の場合 <input checked="" type="checkbox"/> 常勤職員 <input type="checkbox"/> 会計年度任用職員）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度 見込み		目標値 (8年度)
	①	区長との対談（回）	0	0	0	1	1	
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
5年度		6年度						
継続		継続 観光大使のPR力を活用し、区の魅力を発信するため、継続して実施する。						

予算・決算額等の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算額		136	130	150	146	163	146	162
決算額 (5年度は見込み)		74	59	98	62	98	77	162
実績の推移	事項名 (5年度は見込み)	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
	区長との対談 (回)	0	0	0	0	0	0	0
	PR活動(名刺等作成) (枚)	-	2,000	-	2,000	-	2,000	-
予算・決算の内訳								
令和3年度 (決算)			令和4年度 (決算)			令和5年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
需用費	大使PR物品購入費ほか	98	需用費	大使名刺印刷	77	需用費	大使PR物品購入費ほか	143
						使用料及び賃借料	会場使用料	19

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額	3年度		4年度	差額		
行政費用	給与関係費	1,418	550	▲ 868	地方税等	0	0	0	
	物件費	98	77	▲ 21	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	153	67	▲ 86	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 1,669	▲ 694	975	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	1,669	694	▲ 975	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 1,669	▲ 694	975	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 1,669	▲ 694	975		

備考

行政費用では、給与関係費を除くと物件費が主なものであり、内訳としては、観光大使が配布する名刺の作成に77千円かかっている。

問題点・課題

観光大使に荒川区の魅力をPRしてもらうため、区の最新動向等を定期的なきめ細かく情報提供していく必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	コロナ禍によりイベントの開催が限られた場合も、引き続き実施報告やイベント以外の取組の紹介等、こまめな情報提供を行う。	イベントなどについて、適切に情報提供を行った。	引き続き、イベント等の実施予定など、こまめな情報提供を行う。
②			
③			

他区の実況	(実施 12 区 未実施 10 区 不明 0 区)			
	千代田区(観光協会アンバサダー)、中央区(ミス中央)、港区、新宿区(観光特使)、台東区、品川区、大田区(観光PR特使)、渋谷区、中野区、豊島区、板橋区、葛飾区			
議会(要旨)質問状	平成27年度予特 著名人ではなく、一般の方による区の魅力発信を行ってはどうか。 平成27年度予特 観光大使の増員について 平成29年度予特 一般公募の大使等、他自治体の実状も含めて研究してみてはどうか。 令和4年度予特 観光大使の増員について			

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	06-04-03	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事		
事務事業名	産業観光推進事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	矢代			
		担当者名	大野	内線	3563			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-02-01	産業観光推進事業						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 5年度 <input type="checkbox"/> 4年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業			
開始年度	平成 14（2002）年度	根拠	荒川区モノづくり見学・体験スポット整備支援事業要綱					
終期設定	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無（ ）年度	法令等						
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="checkbox"/> 計画 <input type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市					
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成					
	施策	01	観光資源の発掘とにぎわいの創出					
目的	荒川区の産業技術や伝統工芸技術、区内で製造・販売されている優れた商品の紹介とPR、そしてモノづくり見学・体験スポットを通じて、モノづくりのまちあらかわのイメージアップと産業観光を推進する。							
対象者等	商品の製造、販売事業者 区民、区外の人々及び来訪者							
内容	<p>【モノづくり見学・体験スポット整備支援事業】 工房等を一般公開する者をスポット（以下、「モノスポ」）として認定し、必要に応じて改修等の費用を補助。2/3補助（上限100万円）うち、1/2は都補助あり（累計42件、内訳：活動中33件、廃止8件、休止1件）。</p> <p>【あらかわモノスポ】 区外にて行うモノスポPRイベント。平成23年度より年1回。</p> <p>【モノフェスinにっぽり】 日暮里地域にて行うモノスポと日暮里織維街PRイベント。令和5年度より年1回。</p> <p>【荒川ブランドPRイベント】荒川区伝統工芸職人・荒川マイスターのPRイベント ・「荒川ブランド」商品を紹介する冊子の作成・配布 ・観光PRコーナーの設置（おすすめ品の販売等）あらかわの伝統技術展等</p>							
経過	<p>平成19年度 モノづくり見学・体験スポット整備支援事業開始 平成20年度 ①都電ウォークラリーを分離し、単独事業へ。 ②荒川ブランドセールスプロモーション事業を統合。 ③伝統技術展を経営支援課へ移管。 平成23年度 「駅からハイキング関連事業補助」経費を観光イベント助成へ組み替え</p> <p>【「荒川ブランド」紹介冊子の内容】 ①「荒川のおすすめ品 区民が選んだおみやげ編Part1」平成17年度発行 ②「伝統工芸品・荒川マイスター製品編」平成18・20・22・25・28・令和2年度改訂 （伝統工芸品41商品/49名＋荒川マイスター製品23商品/23名＋リストのみ12名＝計64商品/84名） ※同一屋号の方は連名にて掲載するため、商品数と人数が異なる場合がある。</p>							
必要性	モノづくりのまちあらかわの地域資源を活かし産業観光を推進することで、地域産業の活性化を促進するために必要である。							
実施方法	（ <input type="checkbox"/> 一部委託） （直営の場合 <input type="checkbox"/> 常勤職員 <input type="checkbox"/> 会計年度任用職員）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度 見込み		目標値 (8年度)
	①	イベント会場での実演・展示・販売等実施件数	0	0	2	3	15	新型コロナにより2,3年度はイベント中止。
	②	モノづくり見学・体験スポットの件数	32	34	34	36	36	休止1件含む
③	モノづくり見学・体験スポットの年間来訪者数	12,151	12,088	12,219	20,000	20,000	新型コロナにより休業等のため、2～4年度は減少。	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
5年度		6年度						
推進	推進	モノづくりのまちあらかわを区内外に向け広く周知するため、モノづくり見学・体験スポットの拡大とPRの充実を図る取組みを推進する。						

予算・決算額等の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算額		5,361	7,539	8,049	10,309	12,394	5,428	6,876
決算額(5年度は見込み)		2,877	4,362	4,282	1,741	9,941	2,754	6,876
実績の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
事項名(5年度は見込み)								
PR事業(回)		10	11	11	0	1	4	4
内、ブランドPRイベント(回)		7	8	8	0	0	2	2
商品紹介冊子作成(部)		-	-	-	20,000	-	-	20,000
モノづくり見学体験スポット		30	32	33	32	34	34	36

予算・決算の内訳								
令和3年度(決算)			令和4年度(決算)			令和5年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
需用費	モノスポキット購入、宝探し賞品	574	報償費	イベント報償費	56	報償費	イベント報償費	150
役務費	宝探し広告料	1,077	旅費	他自治体へのイベント出展	170	旅費	他自治体へのイベント出展	111
委託料	設営、パンフ、宝探しほか	7,244	需用費	イベント消耗品ほか	133	需用費	イベント消耗品ほか	30
負担金補助等	モノスポ整備補助金	1,044	役務費	イベント運送費ほか	129	役務費	イベント運送費ほか	117
			委託料	会場設営費ほか	1,829	委託料	会場設営費ほか	5,028
			使用料等	会場使用料	440	使用料等	会場使用料	440
			負担金補助等	モノスポ整備補助金	0	負担金補助等	モノスポ整備補助金	1,000

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
	給与関係費	10,398	3,142	▲ 7,256	地方税等	0	0	0
	物件費	8,897	2,678	▲ 6,219	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	4,305	79	▲ 4,226
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	1,044	76	▲ 968	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	179	128	▲ 51
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	4,484	207	▲ 4,277
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,119	383	▲ 736	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 16,974	▲ 6,072	10,902
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	21,458	6,279	▲ 15,179	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 16,974	▲ 6,072	10,902
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 16,974	▲ 6,072	10,902

備考 行政費用では、給与関係費を除くと物件費が主なものであり、主な内訳としては、会場設営委託に1,342千円かかっている。行政収入のその他は、「おうちでモノづくりキット」売上金である。なお、3年度の都支出金については、新規事業への単年度補助である。

問題点・課題
 ・区民以外にも「モノづくりのまちあらかわ」をPRするため、既存事業の広報について検討する必要がある。
 ・「荒川ブランドPR」や「あらかわモノスポ」、「モノフェスinにつぼり」等、対面イベントについて、事業内容ごとにターゲット層を集客できる会場を検討する必要がある。
 ・外国人観光客を受け入れることができる体制整備を行う必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	対面型イベントの準備をしつつ、引き続きコロナ禍に応じた事業に適した周知方法を検討する。	対面型イベントを再開し、新型コロナ対策を講じながら開催した。チラシ配布先やSNSなど、イベント各々に適した周知方法を実施した。	対面型イベントをメインとし、積極的にモノづくりの街をPRしていく。
②	対面型イベントを実施する際には、集客力など、より効果的な会場を検討する。	より効果的な会場を検討するため、今まで実施していない、新しい会場で実施し、効果を検証した。	集客力や地域経済の活性化などの観点から、より効果的な会場を検討する。
③	新型コロナに対する政府等の動向を見ながら、対面型・非対面型イベント共に検討し、適宜対応する。	新型コロナは収束していないため、対面型・非対面型イベント共に実施した。	対面型イベントをメインとし、より充実させる。コロナ禍前までの経験と反省を活かす。

他区の実況	(実施 5 区 未実施 15 区 不明 2 区)
東京の多様性を活かした観光まちづくり推進支援事業活用区：台東区(中小製造業アトリエ化支援事業) その他関連事業実施区：墨田区(すみだモダンブランド認証事業、すみだファクトリーめぐり)、大田区(おたオープンファクトリー)、江東区(江東ブランド推進事業)、足立区(足立ブランド事業)	

況 議 平 成 17 年 2 定 産 業 観 光 の 視 点 で 、 姉 妹 友 好 都 市 交 流 を す る べ き 。
 会 質 問 状

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	06-04-04		戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	観光イベント支援事業		部課名	産業経済部観光振興課	課長名	矢代		
			担当者名	手塚	内線	461		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-03-01	川の手荒川まつり事業						
	01-03-02	観光イベント助成費						
	01-03-03	隅田川花火大会事業費						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 5年度 <input type="radio"/> 4年度）		<input type="radio"/> 建設事業	<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	昭和 62	（ 1987 ）	年度	根拠	川の手荒川祭り実行委員会実施事業補助金交付要綱、荒川区観光振興事業補助金交付要綱			
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	令和 7	（ 2025 ）	年度	法令等			
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市					
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成					
	施策	01	観光資源の発掘とにぎわいの創出					
目的	区民等の開催する観光事業を支援し、区民とともに観光資源を育成する。							
対象者等	区民主体の民間団体 区民、区外の人々及び来訪者							
内容	<p>1 川の手荒川まつり実行委員会補助</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度（南千住野球場）12,312千円 ・30年度（汐入公園）15,551千円 31年度（汐入公園）17,766千円 ・令和2年度（中止）247千円 ・3年度（オンライン）6,170千円 4年度（中止）149千円 <p>2 観光振興事業補助等</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度 2件 350千円（「クイズラリーイベント」50千円、「下町音楽散歩」300千円） 4年度 1件 50千円（「あらかわ まちの駅下町すごろく」50千円） <p>3 隅田川花火大会実行委員会への負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度180万円 ・30年度150万円 ・31年度165万円 ・令和2年度0円（中止） 3年度0円（中止） ・4年度0円（中止） 							
経過	<p>○川の手荒川まつり</p> <p>昭和62年以来、毎年4月29日（祝）に実施。平成17年度の実行委員会において開催場所を南千住野球場、東尾久運動場、荒川遊園運動場、汐入公園で開催することとしたが、交通アクセスや各会場固有の課題が生じ、令和4年度の実行委員会が当面の間、南千住野球場で開催することとした。</p> <p>○シダレザクラ祭り補助金</p> <p>平成23年度に公園緑地課（現在の土木管理課）に移管。</p> <p>○駅からハイキング関連事業補助</p> <p>平成23年度に産業観光推進事業か組み替え。</p> <p>○隅田川花火大会</p> <p>平成24年のスカイツリー開業を契機に観覧者が増加し、実行委員会や東京都からの要請もあり25年度から実行委員会に参加した。</p>							
必要性	区民・地域団体等が実施するイベントを支援することで、より多くの集客の機会を創出することが期待出来る。							
実施方法	（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 <input type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員 ）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度見込み		目標値(8年度)
	①	観光事業補助金申請件数	3	2	1	5	13	日暮里駅前広場活用イベント補助を含む
	②	川の手荒川まつり来場者満足度(%)	-	-	-	94	95	新型コロナにより、2、4年度は中止、3年度はオンライン開催
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
5年度	6年度							
推進	推進	区民・事業者の自主的活動は、観光振興による地域の活性化を図る上で欠かせないものであることから、今後も関係団体等に対する支援を推進する。						

予算・決算額等の推移	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算額	19,082	22,424	25,106	28,279	17,534	33,617	36,520
決算額 (5年度は見込み)	18,180	21,087	23,469	3,328	3,881	198	36,520
実績の推移	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
事項名 (5年度は見込み)							
シダレザクラ祭り参加者(人)	11,000	12,000	15,000	0	0	0	7,000
事業補助金 (日暮里イベント含む)	10	6	5	3	2	5	14
川の手荒川まつり来場者(人)	79,000	50,000	38,000	0	0	0	40,000
川の手荒川まつり参加団体	131	129	129	0	39	0	130

予算・決算の内訳							
令和3年度 (決算)			令和4年度 (決算)			令和5年度 (予算)	
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項
負担金補助等	川の手荒川まつり補助金	3,531	負担金補助等	川の手荒川まつり補助金	148	報酬	臨時職員報酬 (川の手荒川まつり)
負担金補助等	観光振興事業補助金	50	負担金補助等	観光振興事業補助金	50	職員手当等	時間外手当 (川の手荒川まつり、隅田川花火大会)
負担金補助等	観光資源活用イベント支援補助金	300				職員手当等	臨時職員通勤費 (川の手荒川まつり)
						需用費	隅田川花火大会用消耗品
						委託料	隅田川花火大会テント等設置費ほか
						負担金補助等	隅田川花火大会分担金・観光振興補助金ほか
						負担金補助等	川の手荒川まつり補助金
							24,604

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目		
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額
	給与関係費	8,980	5,892	▲ 3,088	地方税等	0	0
	物件費	0	0	0	国庫支出金	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0
	補助費等	3,881	198	▲ 3,683	使用料及び手数料	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	967	719	▲ 248	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 13,828	▲ 6,809
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0
	行政費用合計(b)	13,828	6,809	▲ 7,019	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 13,828	▲ 6,809
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 13,828	▲ 6,809

備考 補助費等について、令和3年度は川の手荒川まつりをオンライン開催したが、令和4年度は未開催であるため減少した。また、隅田川花火大会は令和3、4年度と中止となっているため、物件費等はかかっていない。

問題点・課題 ①川の手荒川まつりについては、来場者を楽しんでいただける開催内容を検討していく必要がある。
②隅田川花火大会については、区内の観覧場所となる汐入地域において、実行委員会として関係機関と調整しさらなる安全対策を万全に図らねばならない。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	コロナ禍でも会場開催ができるよう、感染対策について検討していく (川の手荒川まつり)	令和4年度は感染対策が困難として中止となった (川の手荒川まつり)	来場者アンケートなどを踏まえ、開催内容の検討を行う (川の手荒川まつり)
②	コロナ禍での開催となれば、感染対策についても検討していく (隅田川花火大会)	令和4年度は感染対策が困難として中止となった (隅田川花火大会)	新型コロナウイルス感染症に対する方針を注視し、会場開催の準備・検討を行う (隅田川花火大会)
③			

他区の実況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)
-------	--------------------------

議会要旨 平成14年3定 都電沿線の文化祭における区及び地元商店街の関わり方について
平成16年1定 沿線商店街と連携した都電乗客サービスの提供と路面電車サミットの開催について
平成17年2定 日暮里・舎人線の開通に合わせて、イベントを開催してはどうか。
平成27年度決特 人が集まる隅田川花火大会を観光振興や商業振興に活用すべきと考えるが区の見解は。
平成27年度予特 観光資源としての富士見坂の活用について

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	06-04-05		戦略プラン		<input checked="" type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事
事務事業名	観光振興懇談会運営費		部課名	産業経済部観光振興課	課長名	矢代		
			担当者名	大久保	内線	3563		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-04-01	観光振興懇談会運営費						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 5年度 <input type="radio"/> 4年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	平成 18	（ 2006 ）	年度	根拠	荒川区観光振興懇談会設置要綱			
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	令和 7	（ 2025 ）	年度	法令等			
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市					
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成					
	施策	02	受入体制の充実と観光情報の発信					
目的	観光に関する様々な分野の有識者で構成する懇談会を開催し、区の観光振興の目指すべき方向とその実現のために必要な具体的施策等について検討を行う。懇談会の提言に基づき、区の観光振興施策の効果的な推進を図る。							
対象者等	学識経験者、観光関係団体、観光・交通事業者、産業団体関係者等							
内容	<p>【平成19～22年度】18年度の調査報告書、懇談会提言に基づく区の観光施策の実施状況やその他の社会情勢変化に伴う見直し等の検討・検証</p> <p>【平成27年度】2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据えてさらなる誘客を図るため、新たな観光振興懇談会報告書を作成。</p> <p>【平成28～令和元年度】実施事業の報告に加え、今後の観光施策の課題（28年度）、今後の荒川区の観光施策（太田道灌）（29年度）、区内観光関連事業者等からのヒアリング（30年度）、日暮里繊維街でのフィールドワーク（元年度）を実施。【令和 2年度】「コロナ禍における観光振興」をテーマに意見交換</p> <p>【令和 3年度】「デジタル技術を活用した荒川区の観光振興の充実に向けて（提言）」の作成</p> <p>【令和 4年度】「シェアリングエコノミー導入に向けての講演会」を実施</p>							
経過	<p>【平成18年度】様々な分野の有識者で構成する観光振興懇談会を5回開催し、観光振興の目指すべき方向性と具体的施策について検討し、提言を報告書としてまとめた。</p> <p>【平成19年度から平成22年度】18年度の調査報告書、懇談会報告書の提言に基づく区の観光施策の実施状況やその他の社会情勢変化に伴う見直し等の検討・検証（19年2回、20年3回、21年1回、22年1回）【平成24年度】観光事業コンサルタントによる講演会、質疑応答、意見交換である研究会を1回実施</p> <p>※平成23年度、25年度、26年度は未実施</p> <p>【平成27年度】観光振興懇談会を3回行い、座長から区長へ荒川区観光振興懇談会報告書手交実施 本報告書により、地域経済・産業の活性化、住民の地域に対する誇りの高揚や来訪者との交流による地域活性化を図り「人が集う魅力あるまちの形成」を目指すことを確認した。</p> <p>【平成28年度～令和4年度】各年度、荒川区観光振興懇談会を1～2回実施</p>							
必要性	専門家からの提言・助言を活かすことで、より効果的に区の観光振興施策を推進していくことが期待出来る。							
実施方法	（ 1直営 ） （ 直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員 ）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度 見込み		目標値 (8年度)
	①	懇談会の開催(回)	1	1	1	1	2	
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
5年度	6年度							
継続	継続	有識者や関係団体の意見をより実践的・具体的に今後の計画及び施策に反映するため、継続して実施する。						

予算・決算額等の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算額		300	248	248	248	248	248	292
決算額 (5年度は見込み)		128	60	162	145	102	155	292
実績の推移	事項名 (5年度は見込み)	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
	観光基礎調査	-	-	-	-	-	-	-
	懇談会(回)	2	1	1	1	1	1	1
	懇談会専門部会(回)	-	-	-	-	-	-	-
	研究会(回)	-	-	-	-	-	-	-
予算・決算の内訳								
令和3年度(決算)			令和4年度(決算)			令和5年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	懇談会委員謝礼等	100	報償費	懇談会委員謝礼等	153	報償費	懇談会委員謝礼等	249
需用費	懇談会賄い等	2	需用費	懇談会賄い等	2	需用費	懇談会賄い等	22
						消耗品費	消耗品	21

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
行政費用	給与関係費	3,308	1,964	▲ 1,344	地方税等	0	0	0
	物件費	2	2	0	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	100	153	53	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	356	240	▲ 116	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 3,766	▲ 2,359	1,407
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	3,766	2,359	▲ 1,407	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 3,766	▲ 2,359	1,407
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 3,766	▲ 2,359	1,407	

備考

行政費用では、給与関係費を除くと補助費等が主なものであり、内訳は観光振興懇談会委員への報償費である。

問題点・課題

・令和4年6月発行の「デジタル技術を活用した荒川区の観光振興の充実に向けて(提言)」の内容を受け、荒川区の観光振興についての具体的施策を立案していく必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	懇談会での意見をもとに、デジタル技術を活用した荒川区の観光振興の充実に向けた観光振興懇談会提案書別冊の完成を目指す。	懇談会提案書別冊を令和4年6月に発行した。	荒川区で適用可能なシェアリングエコノミーについて、具体的に方式等検討する。
②			
③			

他区の実況	(実施)		未実施		不明	
	0	区	22	区	0	区)
議会議決(要旨)	平成29年度11月会議 荒川区観光協会の設立に向けて、区内各団体同士の協議の場を設定し、設立に向けて働きかけるべきと考えて欲しい。 平成26年度予特 2020年の東京オリンピックまでに、観光客誘客のための戦略を示して欲しい。					

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	06-04-06		戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事				
事務事業名	都電荒川線活用事業		部課名	産業経済部観光振興課	課長名	矢代		
			担当者名	加茂	内線	461		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-02-02	都電荒川線活用事業						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 5年度 <input type="radio"/> 4年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	平成 19	(2007)	年度	根拠				
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	()	年度	法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市					
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成					
	施策	01	観光資源の発掘とにぎわいの創出					
目的	区の観光資源である都電荒川線を活用し、区外からの観光客を呼び込む。区内商店街や都電沿線区（北区、豊島区、新宿区）、東京都（交通局）と連携したイベント等の実施や、特別号の運行により、一層の知名度及びイメージの向上を図る。							
対象者等	区民、区外の人々及び来訪者							
内容	【都電荒川線沿線4区地域活性化協議会事業】（平成24年度に協議会設立） ・都電荒川線沿線絵画コンテスト(23、24年度) ・都電荒川線沿線スタンプラリー(25年度～)※令和2、4年度はクイズラリー 令和2年度実績：10月23日（金）～12月13日（日）に実施、商品応募数1,149人 令和3年度実績：中止 令和4年度実績：9月30日（金）～11月11日（日）に実施、商品応募数1,724人 【都電特別号の運行】平成24年～ バラ号(5月)、ハロウィン号(10月)、さくら号(3～4月)、おもいで号（平成26年10月） 【ラッピング都電の運行】平成27年度：俳句のまちPRラッピング都電（11月～）※4年度に廃止。 【都電DE俳句】30年度：31年3月12日・15名参加、元年度：元年12月13日・15名参加、2年3月6日・中止、2年度、3年度：中止、4年度：4年11月30日・57名参加							
経過	平成19年度 「都電荒川線ウォークラリー」 ・都電荒川線をPRするとともに、沿線の魅力を多くの人に伝えるため、北区との共催により実施。 平成23年度 「都電荒川線100周年記念事業」 ・荒川区主催事業：都電100周年荒川区観光ツアー、都電100周年企画展（ふるさと文化館）など ・記念事業実行委員会主催事業（荒川区、北区、豊島区、新宿区及び都交通局）：都電サミット、都電荒川線沿線絵画コンテスト、花電車の運行、特設HP開設 平成25年度：都電荒川線沿線4区地域活性化協議会による「都電荒川線スタンプラリー」を実施 平成27年度：都電1台に俳句のまちPRラッピングを実施、ラッピング都電を活用した俳句講座を実施 平成28年度～30年度：あらかわ遊園水辺フェスタで都電を活用したイベント(マジックショー)を実施 平成30年度：俳句のまちPRラッピングのデザイン更新							
必要性	区の観光資源である都電荒川線を活用したイベント開催や話題づくりにより、区のイメージアップやPRにとどまらず商店街をはじめとした地域の活性化に繋がることが期待出来る。							
実施方法	(1直営) (直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員)							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度見込み		目標値(8年度)
	①	都電荒川線沿線スタンプラリー参加者数(人)	1,149	0	1,724	1,800	1,800	賞品応募者数(3年度は中止)
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
5年度		6年度						
継続		継続						
沿線3区及び東京都交通局等と連携の上、荒川区の観光資源を活用し、都電荒川線沿線地域全体の活性化を図るため、取組を継続していく。								

予算・決算額等の推移	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
予算額	100	192	196	318	318	318	534	
決算額 (5年度は見込み)	41	128	133	169	0	161	534	
実績の推移	事項名 (5年度は見込み)	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
	都電荒川線沿線スタンプラリー (参加者数)	1,834	1,670	1,611	1,149	0	1,724	1,800

予算・決算の内訳								
令和3年度 (決算)			令和4年度 (決算)			令和5年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
			需用費	スタンプラリー景品ほか	161	需用費	スタンプラリー景品ほか	534

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額	3年度		4年度	差額		
	給与関係費	1,891	1,571	▲ 320	地方税等	0	0	0	
	物件費	0	161	161	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計 (a)	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	203	192	▲ 11	行政収支差額 (a)-(b)=(c)	▲ 2,094	▲ 1,924	170	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額 (d)	0	0	0	
	行政費用合計 (b)	2,094	1,924	▲ 170	通常収支差額 (c)+(d)=(e)	▲ 2,094	▲ 1,924	170	
	特別費用 (g)	0	0	0	特別収入 (f)	0	0	0	
	特別収支差額 (f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額 (e)+(h)	▲ 2,094	▲ 1,924	170	

備考 行政費用では、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け各イベントが中止となったため、給与関係費を除いて費用は発生しなかったが、令和4年度は各イベント再開により物件費が発生した。

問題点・課題 ①都電沿線の活性化のため、イベントでの都電の活用に加え、引続き沿線3区及び交通局と連携し、各駅の観光スポットや沿線情報を掲示し、都電沿線の利便性等をアピールしていく必要がある。
②俳句・バラ・あらかわ遊園等の沿線の魅力を都電と関連付け、「都電の走るまちあらかわ」のイメージを作り、関係機関とも連携し、効果的に情報発信する必要がある。
③都電に特化したイベントの実施やガイドブックの作成等、外国人観光客に向け更なる魅力発信に努めていく必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	都電荒川線沿線4区地域活性化協議会において、感染症対策を実施しながら、都電を活用した事業を検討する。	都電荒川線沿線4区地域活性化協議会主催で都電沿線クイズラリーを開催し、1,724名の方にご参加いただいた。	都電荒川線沿線4区地域活性化協議会において、事業を引き続き検討・提案していく。
②	従来運行していた都電特別号において、情報やメッセージの発信を目的とした手法での実施が可能か検討を行う。	新型コロナウイルス感染予防に留意した上で、10月1日～30日に都電ハロウィン号を運行した。	
③			

他区の実況 (実施 3 区 未実施 19 区 不明 0 区)
・都電荒川線沿線4区地域活性化協議会に加入

議会(要旨) 平成18年4定 都電を活用し、荒川区の観光振興を図るべきである。
平成24年3定 都電を活用した地域や交通局、沿線4区との連携等。
平成26年度予特 あらかわ遊園を活用して商店街振興に貢献するような取組みは検討しているか。
平成27年度予特 あらかわ遊園と都電を活用したイベントで地域ににぎわいが期待できるが区の認識は。
平成27年度予特 あらかわ遊園と都電は区の観光資源であるが、それらをどのように活用しているか。

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	06-04-07		戦略プラン	● 協働 ○ 業務 ○ 財務 ○ 人事				
事務事業名	受入体制整備事業		部課名	産業経済部観光振興課	課長名	矢代		
			担当者名	手塚・大久保・古茂田	内線	462		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-02-03	受入体制整備事業						
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 5年度 ○ 4年度）		○ 建設事業		● それ以外の継続事業			
開始年度	平成 17（ 2005 ）年度	根拠	荒川区外国人来訪者受入体制整備支援事業補助金交付要綱等					
終期設定	○ 有 ● 無（ ）年度	法令等						
実施基準	○ 法令基準内 ● 都基準内 ● 区独自基準		計画区分	● 計画 ○ 非計画				
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市					
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成					
	施策	02	受入体制の充実と観光情報の発信					
目的	観光案内所等を拠点とし、区の魅力を広く情報発信するとともに、来訪者の受入体制を整備するなど、おもてなしの向上を図ることで区の魅力を高め、誘客を促進する。							
対象者等	区民及び区外からの来訪者、区内の宿泊施設及び飲食店							
内容	<p>【観光案内所の運営】日暮里観光案内所における観光情報の発信 開設日：年末年始を除く毎日 10時～16時</p> <p>【観光案内標識設置事業】東京都観光案内標識設置補助金交付要綱に基づく補助事業 17年度 日暮里地区 4基設置 18年度 南千住地区 5基設置 19年度 都電川線沿線 5基設置 20年度 汐入地区 5基設置 22年度 三ノ輪停留場標識を都から移管 29年度 20基盤面改訂</p> <p>【外国人来訪者受入体制整備事業】外国人受入環境整備に対する補助事業、外国人向けイベント実施 区内の宿泊施設、飲食店を営む事業者が外国語版のホームページ、パンフレット等を新規に作成する場合の初期経費の一部（3分の2上限20万円）を補助（平成20年度～）、Wi-Fiスポット2ヶ所整備</p> <p>【観光ボランティアガイド】まちあるきをはじめとした観光案内の実施、まちあるきガイドの養成 ガイド登録者数：148名（延べ）※現在登録者数：33名（うち休会者2名）</p>							
経過	<p>【観光案内所整備運営事業】 平成28年度 日暮里観光案内所及び南千住観光おもてなしサロン開設（平成29年11月閉鎖）</p> <p>【観光案内標識設置事業】 平成17年度 事業開始（観光案内標識設置事業から組み替え）</p> <p>【観光ボランティアガイド事業】 平成18年度 養成講座の開始、ガイド活動の開始（観光情報提供事業として） 平成22年度 観光情報提供事業より移管</p> <p>【外国人来訪者受入体制整備事業】 平成20年度 事業開始 平成26年度 要綱を一部改正（対象事業を飲食店にも拡充する） 平成27年度 要綱を一部改正（宿泊施設・飲食店ともに対象事業を拡充する） 平成29年度 日本文化体験イベント（日本舞踊体験、商店街ツアー）開始（令和2年度に事業終了）</p>							
必要性	多言語案内や標識等の整備を進めることで、外国人をはじめとした観光客に荒川区の観光における満足度を高め、リピーターとしての来訪増加が期待出来る。							
実施方法	（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 ○ 常勤職員 ○ 会計年度任用職員 ）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度見込み		目標値(8年度)
	①	日暮里観光案内所等利用者数(人)	3,000	10,000	18,127	34,000	36,300	年度実績数 2,3年度はコロナで減少
	②	外国語版HP等作成支援(件)	0	0	0	2	5	年度実績数
③	観光ボランティアガイドの活動(回)	0	0	6	25	35	来訪者からの依頼に基づく活動数、2-4年度はコロナで減少	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
5年度		6年度						
重点的に推進	重点的に推進	観光案内所におけるきめ細かな観光案内をはじめ、観光案内標識の整備、観光ボランティアガイドの養成など、来訪者の受入環境の整備を重点的に推進する。						

予算・決算額等の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算額		14,558	5,997	11,896	7,128	6,950	6,842	13,381
決算額 (5年度は見込み)		10,788	3,280	9,800	3,021	3,854	4,831	13,381
実績の推移	事項名 (5年度は見込み)	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
	観光案内標識設置	—	—	—	—	—	—	—
	観光案内標識内容更新・修正	20	—	1	5	5	5	4
	外国語版HP作成支援	0	0	0	0	0	0	2
	ガイド活動	21	34	21	0	0	6	25
予算・決算の内訳								
令和3年度 (決算)			令和4年度 (決算)			令和5年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
報償費	観光案内所スタッフ謝礼、ガイド養成講座講師謝礼等	2,171	報償費	観光案内所スタッフ謝礼、ガイド養成講座講師謝礼等	3,027	報償費	観光案内所スタッフ謝礼、ガイド養成講座講師謝礼等	4,334
需用費	案内所整備用消耗品・ガイド用消耗品ほか	31	需用費	案内所整備用消耗品・ガイド用消耗品ほか	124	需用費	案内所整備用消耗品・ガイド用消耗品ほか	199
役務費	案内所通通信費・ガイド保険料ほか	576	役務費	案内所通通信費・ガイド保険料ほか	577	役務費	案内所通通信費・ガイド保険料ほか	597
委託料	観光案内標識盤面修正委託ほか	680	委託料	観光案内標識盤面修正委託ほか	706	委託料	訪日外国人向け観光PRデジタルコンテンツ作成委託ほか	7,259
使用料等	案内所賃料	396	使用料等	案内所賃料	396	使用料等	案内所賃料	792
負担金補助等	外国人来訪者受入整備補助金	0	負担金補助等	外国人来訪者受入整備補助金	0	負担金補助等	外国人来訪者受入整備補助金	200

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
行政費用	給与関係費	4,254	4,321	67	地方税等	0	0	0
	物件費	1,672	1,792	120	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	200	197	▲3
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	2,182	3,039	857	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	161	161	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	200	197	▲3
	賞与・退職給与引当金繰入額	458	527	69	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲8,527	▲9,643	▲1,116
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	8,727	9,840	1,113	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲8,527	▲9,643	▲1,116
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲8,527	▲9,643	▲1,116	

備考 行政費用では、給与関係費を除くと補助費等が主であり、主な内訳としては日暮里観光案内所スタッフ謝礼に3,017千円かかっている。

問題点・課題 ①外国人来訪者受入体制整備支援事業補助金のPRを積極的に行い、事業者支援につなげ、外国人観光客の受入体制の整備充実を図る必要がある。
②新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一時は日暮里観光案内所利用外国人数は減少していたが、徐々に回復しつつある。公共交通機関等の案内など、旅行者に寄り添う、一層きめ細やかなサービスが必要である。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	引き続き新型コロナの状況に鑑み、観光案内所の運営を柔軟に行う。	通常通り、年末年始を除いて毎日営業した。	回復しつつあるインバウンドに対応するため、老朽化した日暮里観光案内所を改修する。
②	外国人観光客の受入が拡大している状況等を踏まえ、外国人観光客へのPR方法を検討する。	引き続きPR方法について検討した。	訪日外国人向けの観光PRデジタルコンテンツを作成し、当区への来訪を促す。
③	引き続き新型コロナの状況に鑑み、ボランティアガイドの会の意向も確認しながらPRを実施していく。	ボランティアガイドの会の意向を確認し、コロナ前と同様にPRを実施した。	

他区の実況	(実施 15 区 未実施 0 区 不明 7 区)
	観光案内標識…台東区、豊島区、中央区、葛飾区、千代田区、足立区他

議会(要旨) 平成20年3定 外国人観光客誘致に向け、観光案内所を日暮里駅周辺へ設置すべき。
平成28年度決特 区内の日本語学校生徒の通訳ボランティアとしての活用について
平成28年度決特 日暮里活性化施設を活用した区内への誘客について
令和4年度決特 フィルムコミッションの状況について
令和4年度観光文化 観光協会の設立について

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	06-04-09	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事			
事務事業名	俳句活用事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	矢代				
		担当者名	古茂田	内線	462				
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-05-01	俳句活用事業							
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 5年度 <input type="radio"/> 4年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	平成 27（2015）年度	根拠							
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 令和 7（2025）年度	法令等							
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画					
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市						
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成						
	施策	01	観光資源の発掘とにぎわいの創出						
目的	荒川区俳句のまち宣言に基づき、俳句のまちであることを区内外に向け広くPRする各種事業を実施することで、誘客を促進し、地域の賑わいを創出する。								
対象者等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区民、区外の人々及び来訪者 ・ 奥の細道サミット参加自治体 								
内容	俳句及び奥の細道に所縁の深い区として、「俳句のまちあらかわ」及び「奥の細道矢立初めの地千住あらかわ」を広く内外へPRし、区外からの誘客を促進するとともに、地域の賑わいを創出する。 [令和4年度関連事業(イベント関連)] ①フォト俳句コンテスト(募集期間令和4年10月1日～令和5年1月13日、応募作品数850句) ②都電DE俳句(11月30日、募集15名、応募52名、参加15名)								
経過	荒川区は奥の細道所縁の自治体・団体が加入している「奥の細道サミット」に平成19年度から参加しており、平成27年3月14日に「奥の細道千住あらかわサミット」を開催した。また、サミット同日には、「荒川区俳句のまち宣言」を発表し、以降様々な俳句文化の振興に取り組んでいる。 [サミット開催状況] 29年度 富山県高岡市 30年度 山形県大石田町 元年度 石川県金沢市 2年度 東京都江東区 3年度 岩手県平泉町・一関市 4年度 埼玉県草加市 [近年実施した主なイベント] 2年度 ラッピング都電（運行）、フォト俳句コンテスト、PR商品開発補助金 3年度 ラッピング都電（運行）、フォト俳句コンテスト、PR商品開発補助金、関連自治体への出店 4年度 都電DE俳句、フォト俳句コンテスト、関連自治体への出店								
必要性	俳句のまちあらかわ及び奥の細道矢立初めの地千住あらかわを継続的にPRしていくことで、区内への誘客及び地域の活性化の双方において大きな効果が期待できる。								
実施方法	（ <input checked="" type="radio"/> 一部委託） （直営の場合 <input type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員）								
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明		
			2年度	3年度	4年度	5年度 見込み		目標値 (8年度)	
	①	俳句関連事業数(観光振興課)		2	2	4	9	9	
	②								
③									
事務事業の分類		分類についての説明・意見等							
5年度		6年度							
推進		推進		区外からの誘客を促進し、地域の活性化を図るため、「俳句のまちあらかわ」及び「奥の細道矢立初めの地あらかわ」を活用した観光振興事業を推進する。					

予算・決算額等の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算額		13,418	14,646	17,208	14,106	13,231	9,196	9,520
決算額 (5年度は見込み)		11,463	12,205	14,501	7,862	8,503	7,338	9,520
実績の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
事項名 (5年度は見込み)								
関連事業実施数(観光振興課)		8	10	10	2	2	4	6
奥の細道サミット加入団体数		42	42	42	44	46	45	45

予算・決算の内訳								
令和3年度 (決算)			令和4年度 (決算)			令和5年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
需用費	俳句関連イベント消耗品費	53	報償費	サミット関連自治体への出店報償費	61	報償費	サミット関連自治体への出店報償費	337
役務費	ラッピング都電広告料	2,635	旅費	サミット関連自治体への出展旅費	130	旅費	サミット関連自治体への出展旅費	522
委託料	俳句イベント運営委託費	5,691	役務費	フォト俳句コンテスト広告料	405	需用費	俳句関連イベント消耗品費	383
負担金補助等	PR商品開発補助金	125	委託料	俳句イベント運営委託費	6,741	役務費	フォト俳句コンテスト広告料	516
						委託料	俳句イベント運営委託費	7,732
						負担金補助等	奥の細道サミット負担金	30

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額	3年度		4年度	差額		
行政費用	給与関係費	2,363	2,357	▲ 6	地方税等	0	0	0	
	物件費	8,378	7,277	▲ 1,101	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	125	61	▲ 64	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	254	287	33	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 11,120	▲ 9,982	1,138	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	11,120	9,982	▲ 1,138	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 11,120	▲ 9,982	1,138	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 11,120	▲ 9,982	1,138	

備考 行政費用としては、給与関係費を除くと物件費が主なものであり、主な内訳としては、俳句のまちあらかわPR事業実施に係る運営・広告掲載委託費として6,571千円かかっている。

問題点・課題
 ・俳句文化及び奥の細道を活用した区のPRを行うためには、特定の地域だけでなく、区内外へ「俳句のまちあらかわ」及び「奥の細道矢立初めの地」を広めることが求められる。
 ・俳句文化によるまちの魅力を発信し、誘客促進を行うため、観光関係団体・文化団体や地域文化スポーツ部、教育委員会など関係部署と更なる連携を図り、PRや事業企画等を進めていく必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら、新たな事業企画やPR方法について検討していく。	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、3年ぶりに都電DE俳句を実施した。	庁内関係部署や商店街と連携し、俳句を活用した取組みを継続して実施する。
②	庁内関係部署や商店街と連携し、俳句を活用した取組みを継続して実施する。	4月にリニューアルオープンしたあらかわ遊園を会場とした吟行イベントを実施した。	引き続き既存の観光資源やイベントに俳句を絡め、効果的に情報を発信する。
③	引き続き既存の観光資源やイベントに俳句を絡め、効果的に情報を発信する。	区の観光資源である都電荒川線の車内に「フォト俳句コンテスト」のポスターを掲示した。	

他区の実況 (実施 2 区 未実施 20 区 不明 0 区)
 「奥の細道サミット」加入団体は、23区では当区のほか、江東区、足立区の2区。

議会(要旨) 平成25年1定 「奥の細道旅立ちの地」という重要な地域資源を活かした観光振興を推進すべき
 平成28年度2月会議 「俳句のまちあらかわ」を区内外に広く周知するための取組みを実施すべき
 平成28年度予特 新たに建立する句碑を他の俳句関連スポットとともに観光資源として活用すべき

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	06-04-10	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> 業務 <input type="checkbox"/> 財務 <input type="checkbox"/> 人事					
事務事業名	あらかわの伝統野菜PR事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	矢代			
		担当者名	加茂	内線	3563			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-01-03	あらかわの伝統野菜PR事業						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 5年度 <input type="checkbox"/> 4年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業			
開始年度	平成 24（ 2012 ）年度	根拠						
終期設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 令和 7（ 2025 ）年度	法令等						
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市					
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成					
	施策	01	観光資源の発掘とにぎわいの創出					
目的	地域の活性化や区民の郷土愛の向上を目指して、かつて江戸時代に荒川区で生産されていた三河島菜など荒川区の地名を冠した野菜を復活させる取り組みを行い、江戸東京野菜として区内外に広くPRを行う。							
対象者等	区民、区外の人々及び来訪者、区内協力店舗等							
内容	①都立農産高校との連携（平成24年度～） ・平成24年に園芸部にて三河島菜と汐入大根の試験栽培を開始（汐入大根は不作）。翌年より授業として三河島菜を栽培。 ・「にっぽりマルシェ」にて、三河島菜を生徒が販売、これまでの三河島菜の研究成果を「にっぽりマルシェ」にてブース展示、来場者に説明（平成27年度～令和元年度） ・「道灌まつり」にて、三河島菜を生徒が販売、三河島菜の研究成果をブース展示、来場者に説明（令和4年度～） ②区役所内レストランさくらでの三河島菜フェアの開催（平成25年度～） ・三河島菜を使用した定食を日替わりで1週間提供 ③三河島菜イメージキャラクターの作成及びPRグッズの作成（平成26年度～） ・クリアファイル、トートバッグ							
経過	・平成18年度、荒川ふるさと文化館にて、「あらかわのお野菜 都市とお野菜」を開催。荒川区ゆかりの伝統野菜が現存しないか江戸東京・伝統野菜研究会の大竹道茂氏が調査をしたところ、「仙台芭蕉菜」が、その子孫種であることが判明。大竹氏が小平市の農家へ種を持ち込み栽培。 【平成23年度】「青茎三河島菜」としてJA東京中央会によって江戸東京野菜に選定、【平成24年度】都立農産高校と連携し三河島菜及び汐入大根の試験栽培を開始、【平成25年度～】授業の一環で三河島菜の栽培を開始（毎年9月頃）、【平成25年度～令和元年度】都立農産高校の生徒が「にっぽりマルシェ」で三河島菜を販売、【平成26年度～】区役所内「レストランさくら」にて1週間三河島菜メニューフェアを開催、【平成26年度～】都立農産高校へ区から感謝状贈呈（毎年3月）、【平成30年度】汐入水辺フェスタに参加。三河島菜を育てるワークショップを開催、【令和元年度】「人間と社会」の授業として講師を派遣し、勉強会を実施（出席生徒数約140名）、【令和4年度～】都立農産高校の生徒が「道灌まつり」にて三河島菜を販売。							
必要性	・新たな観光資源の創出は、更なる誘客の促進に不可欠である。 ・荒川区独自の文化を観光資源に活用することは、区の魅力をPRするために重要である。							
実施方法	（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 <input type="checkbox"/> 常勤職員 <input type="checkbox"/> 会計年度任用職員 ）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度 見込み		目標値 (8年度)
	①	三河島菜フェア提供食数（合計）	431	592	672	700	700	レストランさくら実施（5日間合計）
	②	三河島菜販売数（セット）	0	0	117	120	200	にっぽりマルシェ、その他会場での販売(2,3年度は未実施)
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
5年度		6年度						
継続		継続						
三河島菜の認知度を高め、区民の郷土愛の醸成や区の魅力向上を図るため、今後もこれまでの取組を継続していく。								

予算・決算額等の推移	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算額	410	468	470	467	554	564	571
決算額 (5年度は見込み)	248	300	284	13	17	37	571
実績の推移	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
事項名 (5年度は見込み)							
三河島菜フェア提供食数 (合計)	453	532	415	431	592	672	700
三河島菜販売数 (セット)	84	112	43	0	0	117	120

令和3年度 (決算)			令和4年度 (決算)			令和5年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
需用費	あらかわの伝統野菜PR用消耗品	11	報償費	勉強会講師謝礼	29	報償費	勉強会講師謝礼	74
役務費	感謝状筆耕	6	需用費	あらかわの伝統野菜PR用消耗品	4	需用費	あらかわの伝統野菜PR用消耗品	300
			役務費	感謝状筆耕	4	役務費	感謝状筆耕	6
						委託料	マルシェ展示用パネル設営	191

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
	給与関係費	1,891	1,571	▲ 320	地方税等	0	0	0
	物件費	17	8	▲ 9	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	29	29	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	203	192	▲ 11	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 2,111	▲ 1,800	311
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	2,111	1,800	▲ 311	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 2,111	▲ 1,800	311
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 2,111	▲ 1,800	311

備考 行政費用では、給与関係費を除くと補助費等が主なものであり、内訳は、「三河島菜勉強会」講師謝礼である。

問題点・課題
 ・荒川の伝統野菜として区民に認知され、問い合わせされつつあり、今後も更なる情報発信を継続する必要がある。
 ・野菜やその種に区民が直接触れる機会が少ないため、新たな販売方法を検討する。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	令和4年度以降も「復活！あらかわの伝統野菜」だよりによる情報発信を継続して行う。	「復活！あらかわの伝統野菜」だよりによる情報発信を行った。	令和5年度以降も「復活！あらかわの伝統野菜」だよりによる情報発信を継続して行う。
②	令和4年度以降も、各所と連携し、新型コロナウイルス感染症拡大状況を見ながら、三河島菜をPRする機会を設ける。	新型コロナウイルス感染症対策を実施し、三河島菜フェア及びイベント会場での三河島菜販売を実施した。	令和5年度以降も、各所と連携し、三河島菜をPRする機会を設ける。
③	令和4年度以降も、新たな連携先の開拓について、積極的に検討していく。		令和5年度以降も、新たな連携先の開拓について、検討していく。

他区の実況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)
-------	--------------------------

議会要旨
 平成28年度予特 三河島菜の種をもっと広く一般の方が入手出来るようにしてはどうか。
 平成28年度予特 尾久宮前小で育てている三河島菜の鉢植えを区役所に展示し、PRしてはどうか。

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	06-04-11	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事		
事務事業名	太田道灌魅力発信事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	矢代			
		担当者名	古茂田	内線	462			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-02-04	太田道灌魅力発信事業						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 5年度 <input type="checkbox"/> 4年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input type="checkbox"/> それ以外の継続事業			
開始年度	平成 30（2018）年度	根拠						
終期設定	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	（ ）年度	法令等					
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市					
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成					
	施策	01	観光資源の発掘とにぎわいの創出					
目的	荒川区日暮里地域には、勇壮な太田道灌の騎馬像や山吹の花一枝像、道灌山、道灌丘碑といった太田道灌に関する観光資源が点在していることから、太田道灌を観光資源とし、イベントやPR活動を行うことで日暮里を活性化させ、荒川区への来訪促進を図る。							
対象者等	区民、区外の人々及び来訪者、区内外協力店舗等							
内容	1 日暮里道灌まつり 太田道灌に所縁のある自治体や店舗による物販及び観光PR、ステージでの催し、パネル展示等を日暮里駅前イベント広場で実施。 2 PR活動 ・区HP、区報、twitter、ケーブルテレビ、区営掲示板での紹介 ・観光パンフレットに掲載（おいでよ！あらかわ（区外向けパンフレット）・荒川区観光ボランティアガイドマップ・日暮里舎人ライナー都電沿線まちあるきマップ） ・グッズの作成（令和5年1月～2月） 絆創膏（500枚）、巾着（500個） ・東京三味カレンダー秋号に掲載（令和4年9月）							
経過	日暮里道灌まつり 【平成30年度】10月20日（土）、21日（日）午前10時から午後5時まで ※にっぽりマルシェと同時開催 【令和元年度】11月9日（土）午前10時から午後4時まで ※都市交流フェアと同時開催 【令和2年度】オンライン開催 区施設でのパネル展（本庁舎10/12～23、ゆいの森10/16～30、西日暮里ギャラリー10/28～11/11）、区HPでの出展団体及び特産品の紹介（11/1～30）を行った。 【令和3年度】オンライン開催 ふらっとにっぽりでのパネル展・区HPで関係自治体等の紹介（12/1～15）及び区YouTubeで落語「道灌」（三遊亭王楽氏 ※荒川区観光大使である三遊亭好楽氏の兄弟弟子）の放映を行った。 【令和4年度】11月12日（土）午前10時から午後3時まで 【令和5年度】11月11日（土）午前10時から午後4時まで ※都市交流フェアと同時開催予定							
必要性	荒川区の歴史文化を観光資源に活用することにより、区のにぎわいを創出し、地域経済の活性化するために必要である。							
実施方法	（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 <input type="checkbox"/> 常勤職員 <input type="checkbox"/> 会計年度任用職員 ）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度見込み		目標値(8年度)
	①	日暮里道灌まつり来場者数	0	0	2,000	3,000	6,000	新型コロナのため、2年度及び3年度はオンライン開催
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
5年度	6年度							
推進	推進	荒川区と太田道灌のつながりの認知度を高め、区民の郷土愛の醸成や区の魅力向上を図るため、取組を推進する。						

予算・決算額等の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算額		—	2,603	4,207	6,143	5,010	6,339	6,452
決算額 (5年度は見込み)		—	2,330	3,879	33	220	5,331	6,452
実績の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
事項名 (5年度は見込み)								
日暮里道灌まつり(人)		—	5,000	2,000	0	0	2,000	3000

(単位：千円)

令和3年度 (決算)				令和4年度 (決算)				令和5年度 (予算)			
節	主な事項	金額 (千円)		節	主な事項	金額 (千円)		節	主な事項	金額 (千円)	
委託料	落語公演業務委託ほか	220		需用費	PRグッズほか	342		需用費	PRグッズほか	563	
				役務費	保険料	53		役務費	保険料	70	
				委託料	委託料	4,937		委託料	委託料	5,819	

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
行政費用	給与関係費	2,836	2,749	▲ 87	地方税等	0	0	0
	物件費	220	5,279	5,059	国庫支出金	0	2,665	2,665
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	52	52	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	220	0	▲ 220
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	220	2,665	2,445
	賞与・退職給与引当金繰入額	305	335	30	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 3,141	▲ 5,750	▲ 2,609
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	3,361	8,415	5,054	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 3,141	▲ 5,750	▲ 2,609
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 3,141	▲ 5,750	▲ 2,609	

備考

行政費用では、給与関係費を除くと、物件費が主なものであり、主な内訳としては日暮里道灌まつり会場設営及びイベント運営委託に4,754千円かかっている。補助費は前年度比52千円増額しているが、これは「賠償責任保険の加入」のために支出が生じたためである。

問題点・課題

・荒川区と太田道灌のつながりを更にPRする方法を検討する必要がある。
 ・関連自治体と交流を深め、連携することにより、太田道灌の魅力を発信する機会を増やしていく必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	引き続き新型コロナの感染状況を踏まえ、関係自治体等の連携方法を検討する。	関連自治体には引き続きお声掛けの上、感染状況等を鑑みて希望する団体に出展いただいた。	他事業との連携を強化し、荒川区と太田道灌のつながりをより積極的にPRする。
②	引き続き新型コロナの感染状況を踏まえ、事業の実施方法を検討する。	新型コロナの感染状況を踏まえ、日暮里道灌まつりを日暮里駅前イベント広場にて開催した。	
③			

他区の実況 (実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)

議会議案(要旨) 平成29年度11月会議 太田道灌をテーマとし、ゆかりのある自治体等と連携したイベントを開催するなど、新たな誘客策に取り組むべき
 平成29年度予特 太田道灌を軸とした交流を作り出し、関わりのある自治体と広く連携を進めるべき
 令和4年度観光文化 太田道灌を活用した観光施策を行い、大河ドラマを誘致すべき

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	06-04-12		戦略プラン		<input checked="" type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事
事務事業名	観光振興功労者表彰事業		部課名	産業経済部観光振興課	課長名	矢代		
			担当者名	高村	内線	461		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-06-01	観光振興功労者表彰事業						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 5年度 <input type="radio"/> 4年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	令和 3	（ 2021 ）	年度	根拠	荒川区観光振興功労者表彰実施要綱			
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	令和 7	（ 2025 ）	年度	法令等			
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画	<input checked="" type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市					
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成					
	施策	01	観光資源の発掘とにぎわいの創出					
目的	区の観光振興に功績のあった団体や個人等の功績を広く周知することにより、区の観光振興につなげていくことを目的とする。							
対象者等	区の観光振興に功績のあった団体、個人							
内容	<p>1 表彰基準 区の観光振興に貢献しており、以下のいずれかに該当していることとする。</p> <p>（1）区の区域内において継続的に観光振興事業を実施し、又は観光振興事業に協力し、区の観光イメージの向上に貢献していること。</p> <p>（2）区の観光資源の魅力向上又は発信し、区の観光イメージの向上に貢献していること。</p> <p>（3）区の新たな観光資源の創出に貢献していること。</p> <p>（4）その他、区の観光振興及び地域振興への貢献が特に顕著であること。</p> <p>2 表彰の方法 被表彰者に賞状・盾・記念品の授与を行う。</p> <p>3 選考方法 外部委員を加えた選考委員会において、表彰基準に該当し、事務局が推薦する者について諮問し、選考委員会からの答申を参考に被表彰者を決定する。</p>							
経過	<p><歴代受賞者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回（R3年度）杉山 六郎（南千住コツ通り商店会会長、荒川区商店街連合会副会長） ・ 第2回（R4年度）東京都立農産高等学校 							
必要性	区の観光振興に功績のあった団体や個人等の功績を区が表彰することで、区民の観光振興への取り組みに対する意欲の向上が期待できる。							
実施方法	（ 1直営 ） （ 直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員 ）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度見込み		目標値(8年度)
	①	被表彰者数		1	1	1	2	
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
5年度	6年度							
継続	継続	区民の観光振興への取り組みに対する意欲の向上を図るため、継続して実施する。						

予算・決算額等の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算額					—	392	183	194
決算額 (5年度は見込み)					—	43	78	194
実績の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
事項名 (5年度は見込み)								
観光振興功労者被表彰者数						1	1	1
予算・決算の内訳		令和3年度 (決算)			令和4年度 (決算)		令和5年度 (予算)	
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
需用費	表彰記念品ほか	43	報償費	委員謝礼	27	報償費	委員謝礼	41
			需用費	表彰記念品ほか	51	需用費	表彰記念品ほか	153

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
	給与関係費	4,726	1,178	▲ 3,548	地方税等	0	0	0
	物件費	43	51	8	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	27	27	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	509	144	▲ 365	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 5,278	▲ 1,400	3,878
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	5,278	1,400	▲ 3,878	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 5,278	▲ 1,400	3,878
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 5,278	▲ 1,400	3,878

備考 行政費用としては、物件費（表彰記念品等の購入費）51千円、補助費等（委員謝礼）27千円となっている。

問題点・課題 区の観光振興に功績のあった団体や個人を、適切に選考するがある。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	表彰候補者の選考にあたっては、適格な人選に努める。	区の観光資源の創出や観光振興への取組実績などを踏まえ、適格な人選に努めた。	引き続き、表彰候補者の選考にあたっては、適格な人選に努める。
②			
③			

他区の実況 (実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)

他区の実況
議会質問状

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	06-04-13	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> 業務 <input type="checkbox"/> 財務 <input type="checkbox"/> 人事					
事務事業名	あらかわ遊園PR事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	矢代			
		担当者名	手塚	内線	461			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	--	あらかわ遊園PR事業						
事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 （ <input type="checkbox"/> 5年度 <input type="checkbox"/> 4年度 ）		<input type="checkbox"/> 建設事業 <input type="checkbox"/> それ以外の継続事業					
開始年度	令和 4	（ 2022 ）	年度	根拠				
終期設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		令和 4	（ 2022 ）	年度	法令等		
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市					
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成					
	施策	01	観光資源の発掘とにぎわいの創出					
目的	荒川区の貴重な観光資源であるあらかわ遊園が令和4年春にリニューアルオープンしたことから、PR冊子の発行やあらかわ遊園を会場としたイベントを実施することで、あらかわ遊園の魅力を広く発信する。							
対象者等	区民、区外の人々及び来訪者							
内容	1. 謎解きイベントの実施 あらかわ遊園を舞台とした謎解きイベント 全問正解し、アンケートに回答した参加者に対し、抽選で賞品を送付 2. あらかわ遊園PR冊子作成 リニューアル後の見どころや周辺の観光スポットを紹介する冊子を旅行雑誌の協力により作成し、あらかわ遊園の魅力を区内外に向けて発信する。							
経過	1. 謎解きイベント 期間：①夏休み 8月1日～31日（9月30日まで延長） ②夜間 10月21日～12月17日の金・土（18日） 金額：①夏休み 500円 ②夜間 500円 想定参加者等：①夏休み 小学校低学年の子どもとその保護者 ②夜間 概ね18歳以上の大人 2. PR冊子作成 名称：るるぶ荒川区 あらかわ遊園・尾久 発行：令和4年8月 部数：50,000部 主な配布先：区内外のファミリーレストラン・スーパーマーケット・都営地下鉄駅構内、区施設等							
必要性	荒川区の貴重な観光資源を活用し、区のにぎわいを創出し、地域経済の活性化を図るために必要である。							
実施方法	（ <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 ） （ 直営の場合 <input type="checkbox"/> 常勤職員 <input type="checkbox"/> 会計年度任用職員 ）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度 見込み		目標値 (8年度)
	①	謎解きイベント参加者数				1,353		
	②	PR冊子配布数				41,500		
③								
事務事業の分類			分類についての説明・意見等					
5年度		6年度						
休止・完了		休止・完了		令和4年4月のリニューアルオープンという好機を逃さず、あらかわ遊園の魅力を広く発信するため、取組を行う。なお、本事務事業は単年度事業のため、5年度は休止・完了とする。				

予算・決算額等の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算額							32,804	—
決算額 (5年度は見込み)							24,607	—
実績の推移	事項名 (5年度は見込み)	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
	謎解きイベント参加者数						1,353	
	PR冊子配布数 (部)						41,500	
予算・決算の内訳								
令和3年度 (決算)			令和4年度 (決算)			令和5年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
			需用費	賞品購入費	1,055			
			役務費	広告料	1,470			
			委託料	謎解き、PR冊子作成委託	22,082			

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
	給与関係費	0	7,699	7,699	地方税等	0	0	0
	物件費	0	24,607	24,607	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	7,694	7,694
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	677	677
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	8,371	8,371
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	939	939	行政収支差額(a)-(b)=(c)	0	▲24,874	▲24,874
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	0	33,245	33,245	通常収支差額(c)+(d)=(e)	0	▲24,874	▲24,874
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	0	▲24,874	▲24,874

備考

行政費用としては、給与関係費を除くと物件費のみであり、主な内訳は謎解きイベント業務委託15,923千円、PR冊子(るるぶ)作成委託5,928千円である。

問題点・課題

リニューアル後のあらかわ遊園の魅力を効果的にPRする方法を検討する必要がある。また、あらかわ遊園だけではなく、周辺地域の魅力発信について検討する必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	PR冊子において、あらかわ遊園以外の観光スポットの掲載を検討する。	宮前公園や尾久地域の飲食店などの観光関連スポットを掲載し、区内の回遊性を図った。	本事業は令和4年度を以って休止・完了となるが、今後も区の観光資源であるあらかわ遊園を引き続きPRしていく。
②	あらかわ遊園への誘客に効果的なPR冊子の配布方法を検討する。	想定来園者の居住エリア周辺のファミリーレストランや都営地下鉄などで配布を行った。	
③	あらかわ遊園への誘客に効果的な謎解きイベントの周知方法を検討する。	都電荒川線や日暮里・舎人ライナー、京成線にイベントを周知する車内広告を掲載した。	

他区の実況

(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)

議会議決(要旨)

令和4年度予特 あらかわ遊園のリニューアルにおけるPRの手法について